

- 平成25年4月より、難病等が障害者総合支援法の対象となり、「難病患者等居宅生活支援事業」の対象疾病と同じ範囲(130疾病)としていた。

**【障害者総合支援法における難病の定義 第4条抜粋】**

治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病であって政令で定めるものによる障害の程度が厚生労働大臣が定める程度である者。

- 難病の患者に対する医療等に関する法律および児童福祉法の一部改正法(平成27年1月1日施行)が成立したことに伴う指定難病及び小児慢性特定疾病の対象疾病の検討を踏まえ、障害者総合支援法の対象となる難病等の範囲を検討するため、「障害者総合支援法対象疾病検討会」を設置(H26.8.27)して、障害者総合支援法の対象疾病の検討を行い、第1次として、平成27年1月より、130疾病から151疾病に拡大。
- 平成27年3月に、同検討会において第2次拡大分の疾病の検討を行い、151疾病から332疾病に拡大する方針が取りまとめられた。

## 障害者総合支援法対象疾病検討会 構成員名簿

	飯野 ゆき子	自治医科大学総合医学第Ⅱ講座主任教授
	大澤 真木子	東京女子医科大学名誉教授
	丹野 久美	横浜市健康福祉局障害福祉部障害福祉課課長補佐
	千葉 勉	京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座教授
	寺島 彰	浦和大学総合福祉学部教授
	直江 知樹	国立病院機構名古屋医療センター院長
	中島 八十一	国立障害者リハビリテーションセンター学院長
◎	中村 耕三	国立障害者リハビリテーションセンター総長
	錦織 千佳子	神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学分野教授
○	平野 方紹	立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授
	水澤 英洋	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター病院長
	宮坂 信之	東京医科歯科大学名誉教授
	和田 隆志	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科教授

◎座長    ○座長代理

(50音順、敬称略)

## 障害者総合支援法の対象疾病の要件

指定難病（医療費助成の対象となる難病）の基準を踏まえつつ、障害者総合支援法の対象となる難病等の要件は以下の通りとされている。

指定難病の要件	障害者総合支援法における取扱い
① 発病の機構が明らかでない	<u>要件としない</u>
② 治療方法が確立していない	要件とする
③ 患者数が人口の0.1%程度に達しない	<u>要件としない</u>
④ 長期の療養を必要とするもの	要件とする
⑤ 診断に関し客観的な指標による一定の基準が定まっていること	要件とする

※他の施策体系が樹立している疾病を除く。  
 ※疾病の「重症度」は勘案しない。

## 障害者総合支援法の対象となる疾病

- 第2次対象疾病 151疾病⇒332疾病に拡大（別紙参照）  
（ +181疾病）

※ 疾病名については今後変更の可能性あり

※ うち障害福祉サービス独自の対象疾病 27疾病

※ H25年4月から対象となっていた130疾病のうち、対象外となる疾病 18疾病

ただし、経過措置を設け、すでに障害福祉サービスの対象となっていた方は継続利用可能とする。

- 今後のスケジュール

平成27年4月28日	社会保障審議会障害者部会
〃 5月～	パブリックコメント
〃 夏	告示改正(予定)

# 障害者総合支援法対象疾病一覧<拡大後> (案)

## 障害福祉サービス独自の対象疾病

[指定難病（医療費助成の対象となる難病）の要件は満たさないが、障害者総合支援法の対象疾病の要件をみたすもの]

## ※第2次検討で拡大した疾病

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
1	アイカルディ症候群 ※	42	黄斑ジストロフィー ※	83	グルタル酸血症1型 ※
2	アイザックス症候群 ※	43	大田原症候群 ※	84	グルタル酸血症2型 ※
3	I g A腎症	44	オクシピタル・ホーン症候群 ※	85	クロウ・深瀬症候群
4	I g G 4 関連疾患 ※	45	オスラー病 ※	86	クローン病
5	亜急性硬化性全脳炎	46	カーニー複合 ※	87	クローンカイト・カナダ症候群 ※
6	アジソン病	47	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん ※	88	痙攣重積型（二相性）急性脳症 ※
7	アッシャー症候群 ※	48	潰瘍性大腸炎	89	結節性硬化症
8	アトピー性脊髄炎 ※	49	下垂体前葉機能低下症	90	結節性多発動脈炎
9	アペール症候群 ※	50	家族性地中海熱 ※	91	血栓性血小板減少性紫斑病
10	アミロイドーシス	51	家族性良性慢性天疱瘡 ※	92	限局性皮質異形成 ※
11	アラジール症候群 ※	52	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群 ※	93	原発性局所多汗症 ※
12	有馬症候群 ※	53	歌舞伎症候群 ※	94	原発性硬化性胆管炎
13	アルポート症候群 ※	54	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症 ※	95	原発性高脂血症
14	アレキサンダー病 ※	55	加齢黄斑変性	96	原発性側索硬化症
15	アンジェルマン症候群 ※	56	肝型糖原病 ※	97	原発性胆汁性肝硬変
16	アントレー・ピクスラー症候群 ※	57	間質性膀胱炎（ハンナ型） ※	98	原発性免疫不全症候群
17	イソ吉草酸血症 ※	58	環状20番染色体症候群 ※	99	顕微鏡的多発血管炎
18	一次性膜性増殖性糸球体腎炎 ※	59	関節リウマチ	100	高I g D症候群 ※
19	一次性ネフローゼ症候群	60	完全大血管転位症 ※	101	好酸球性消化管疾患
20	遺伝性ジストニア ※	61	眼皮膚白皮症 ※	102	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
21	遺伝性周期性四肢麻痺 ※	62	偽性副甲状腺機能低下症	103	好酸球性副鼻腔炎 ※
22	遺伝性疥炎 ※	63	ギャロウェイ・モフト症候群 ※	104	抗糸球体基底膜腎炎 ※
23	遺伝性鉄芽球性貧血 ※	64	急性壊死性脳症 ※	105	後縦靭帯骨化症
24	ウィーバー症候群 ※	65	急性網膜壊死 ※	106	甲状腺ホルモン不応症
25	ウィリアムズ症候群 ※	66	球脊髄性筋萎縮症	107	拘束型心筋症
26	ウィルソン病 ※	67	急速進行性糸球体腎炎	108	高チロシン血症1型 ※
27	ウエスト症候群 ※	68	強直性脊椎炎 ※	109	高チロシン血症2型 ※
28	ウェルナー症候群 ※	69	強皮症	110	高チロシン血症3型 ※
29	ウォルフラム症候群 ※	70	巨細胞性動脈炎	111	後天性赤芽球癆 ※
30	ウルリッヒ病	71	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変） ※	112	広範脊柱管狭窄症
31	VATER症候群 ※	72	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変） ※	113	抗リン脂質抗体症候群
32	HTLV-1 関連脊髄症	73	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	114	コケイン症候群 ※
33	A T R - X 症候群 ※	74	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変） ※	115	コステロ症候群
34	A D H 分泌異常症	75	筋萎縮性側索硬化症	116	骨形成不全症 ※
35	エーラス・ダンロス症候群 ※	76	筋型糖原病 ※	117	骨髄異形成症候群
36	エプスタイン病 ※	77	筋ジストロフィー ※	118	骨髄線維症
37	エプスタイン症候群 ※	78	クッシング病	119	ゴナドトロピン分泌亢進症
38	エマヌエル症候群 ※	79	クリオピリン関連周期熱症候群	120	コフィン・シリス症候群 ※
39	遠位型ミオパチー	80	クリッペル・トレブナー・ウェーバー症候群 ※	121	コフィン・ローリー症候群 ※
40	円錐角膜 ※	81	クルーゾン症候群 ※	122	混合性結合組織病
41	黄色靭帯骨化症	82	グルコーストランスポーター1欠損症 ※	123	鰓耳腎症候群 ※

# 障害者総合支援法対象疾病一覧<拡大後> (案)

障害福祉サービス独自の対象疾病

[指定難病（医療費助成の対象となる難病）の要件は満たさないが、障害者総合支援法の対象疾病の要件をみたすもの]

※第2次検討で拡大した疾病

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
124	再生不良性貧血	165	脊髄空洞症	206	遅発性内リンパ水腫
125	サイトメガロウイルス角膜炎 ※	166	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	207	チャージ症候群
126	再発性多発軟骨炎	167	脊髄髄膜瘤 ※	208	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群 ※
127	左心低形成症候群 ※	168	脊髄性筋萎縮症	209	中毒性表皮壊死症
128	サルコイドーシス	169	全身型若年性特発性関節炎	210	腸管神経節細胞僅少症
129	三尖弁閉鎖症 ※	170	全身性エリテマトーデス	211	TSH分泌亢進症
130	CFC症候群	171	先天性横隔膜ヘルニア ※	212	TNF受容体関連周期性症候群
131	シェーグレン症候群	172	先天性核上性球麻痺 ※	213	低ホスファターゼ症 ※
132	色素性乾皮症	173	先天性魚鱗癬	214	天疱瘡
133	自己貪食空胞性ミオパチー	174	先天性筋無力症候群	215	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症 ※
134	自己免疫性肝炎	175	先天性腎性尿崩症 ※	216	特発性後天性全身性無汗症 ※
135	自己免疫性出血病XIII ※	176	先天性赤血球形成異常性貧血 ※	217	特発性拡張型心筋症
136	自己免疫性溶血性貧血	177	先天性大脳白質形成不全症 ※	218	特発性間質性肺炎
137	システロール血症 ※	178	先天性風疹症候群 ※	219	特発性基底核石灰化症
138	紫斑病性腎炎 ※	179	先天性副腎低形成症	220	特発性血小板減少性紫斑病
139	脂肪萎縮症 ※	180	先天性副腎皮質酵素欠損症	221	特発性大腿骨頭壊死症
140	若年性肺気腫	181	先天性ミオパチー ※	222	特発性門脈圧亢進症
141	シャルコー・マリー・トゥース病	182	先天性無痛無汗症 ※	223	特発性両側性感音難聴
142	重症筋無力症	183	先天性葉酸吸収不全 ※	224	突発性難聴
143	修正大血管転位症 ※	184	前頭側頭葉変性症 ※	225	ドラベ症候群 ※
144	シュワルツ・ヤンベル症候群	185	早期ミオクロニー脳症 ※	226	中條・西村症候群 ※
145	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症 ※	186	総動脈幹遺残症 ※	227	那須・ハコラ病 ※
146	神経細胞移動異常症 ※	187	総排泄腔遺残 ※	228	軟骨無形成症 ※
147	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症 ※	188	総排泄腔外反症 ※	229	難治頻回部分発作重積型急性脳炎 ※
148	神経線維腫症	189	ソトス症候群 ※	230	乳幼児肝巨大血管腫 ※
149	神経フェリチン症 ※	190	第14番染色体父親性ダイソミー症候群 ※	231	尿素サイクル異常症 ※
150	神経有棘赤血球症	191	ダイヤモンド・ブラックファン貧血 ※	232	ヌーナン症候群 ※
151	進行性核上性麻痺	192	大脳皮質基底核変性症	233	脳腱黄色腫症 ※
152	進行性骨化性線維異形成症	193	ダウン症候群 ※	234	脳表へモジデリン沈着症 ※
153	進行性多巣性白質脳症	194	高安動脈炎	235	膿疱性乾癬
154	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症 ※	195	多系統萎縮症	236	嚢胞性線維症
155	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症 ※	196	単心室症 ※	237	パーキンソン病
156	スタージ・ウェーバー症候群 ※	197	タナトフォリック骨異形成症 ※	238	バージャー病
157	スティーヴンス・ジョンソン症候群	198	多発血管炎性肉芽腫症	239	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症
158	スミス・マガニス症候群 ※	199	多発性硬化症/視神経脊髄炎	240	肺動脈性肺高血圧症
159	スモン	200	多発性嚢胞腎	241	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性） ※
160	脆弱X症候群 ※	201	多脾症候群 ※	242	肺胞低換気症候群
161	脆弱X症候群関連疾患 ※	202	タンジール病 ※	243	バッド・キアリ症候群
162	正常圧水頭症	203	弾性線維性仮性黄色腫 ※	244	ハンチントン病
163	成人スチル病	204	短腸症候群 ※	245	汎発性特発性骨増殖症
164	成長ホルモン分泌亢進症	205	胆道閉鎖症 ※	246	P C D H 19関連症候群 ※

# 障害者総合支援法対象疾病一覧<拡大後> (案)

障害福祉サービス独自の対象疾病

[指定難病（医療費助成の対象となる難病）の要件は満たさないが、障害者総合支援法の対象疾病の要件をみたすもの]

※第2次検討で拡大した疾病

番号	疾病名	番号	疾病名
247	肥厚性皮膚骨膜炎 ※	288	マリネスコ・シェーグレン症候群 ※
248	非ジストロフィー性ミオトニー症候群 ※	289	マルファン症候群 ※
249	皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症 ※	290	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー
250	肥大型心筋症	291	慢性血栓性肺高血圧症
251	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	292	慢性再発性多発性骨髄炎 ※
252	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 ※	293	慢性膵炎
253	ピッカースタッフ脳幹脳炎 ※	294	慢性特発性偽性腸閉塞症
254	非典型溶血性尿毒症症候群	295	ミオクロニー欠神てんかん ※
255	非特異性多発性小腸潰瘍症 ※	296	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん ※
256	皮膚筋炎/多発性筋炎	297	ミトコンドリア病
257	肥満低換気症候群	298	無脾症候群 ※
258	びまん性汎細気管支炎	299	無βリポタンパク血症 ※
259	表皮水疱症	300	メーブルシロップ尿症 ※
260	ヒルシュスブルング病（全結腸型又は小腸型） ※	301	メチルマロン酸血症 ※
261	ファイファー症候群 ※	302	メビウス症候群 ※
262	ファロー四徴症 ※	303	メンケス病 ※
263	ファンコニ貧血 ※	304	網膜色素変性症
264	封入体筋炎	305	もやもや病
265	フェニルケトン尿症 ※	306	モワット・ウイルソン症候群 ※
266	複合カルボキシラーゼ欠損症 ※	307	薬剤性過敏症候群 ※
267	副甲状腺機能低下症 ※	308	ヤング・シンブゾン症候群 ※
268	副腎白質ジストロフィー	309	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴 ※
269	副腎皮質刺激ホルモン不応症 ※	310	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん ※
270	ブラウ症候群	311	ライソゾーム病
271	プラダー・ウィリ症候群 ※	312	ラスムッセン脳炎 ※
272	プリオン病	313	ランゲルハンス細胞組織球症
273	プロピオン酸血症 ※	314	ランドウ・クレフナー症候群 ※
274	PRL分泌亢進症（高プロラクチン血症）	315	リジン尿性蛋白不耐症 ※
275	閉塞性細気管支炎 ※	316	両側性小耳症・外耳道閉鎖症 ※
276	ベーチェット病	317	両大血管右室起始症 ※
277	バスレムミオパチー	318	リンパ管腫症/ゴーム病 ※
278	ヘパリン起因性血小板減少症 ※	319	リンパ脈管腫症
279	ヘモクロマトーシス ※	320	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。） ※
280	ペリー症候群 ※	321	ルビンシュタイン・テイピ症候群
281	ペルーシド角膜辺縁変性症 ※	322	レーベル遺伝性視神経症 ※
282	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	323	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症 ※
283	片側巨脳症 ※	324	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴 ※
284	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群 ※	325	レット症候群 ※
285	発作性夜間ヘモグロビン尿症	326	レノックス・ガストー症候群 ※
286	ポルフィリン症 ※	327	ロスモンド・トムソン症候群 ※
287	顕微鏡的大腸炎 ※	328	肋骨異常を伴う先天性側弯症 ※

番号	疾病名
329	1 p36欠失症候群 ※
330	4 p欠失症候群 ※
331	5 p欠失症候群 ※
332	22q11.2欠失症候群 ※

注) 疾病名の表記が変更になる可能性がある

## ○130疾病で対象外とされた疾病

すでに障害福祉サービスの対象となっていた方は、経過措置を設け、継続利用可能とする。

番号	疾病名
1	劇症肝炎
2	重症急性膵炎
3	肝外門脈閉塞症
4	肝内結石症
5	偽性低アルドステロン症
6	ギラン・バレー症候群
7	グルココルチコイド抵抗症
8	原発性アルドステロン症
9	硬化性萎縮性苔癬
10	好酸球性筋膜炎
11	視神経症
12	神経性過食症
13	神経性食欲不振症
14	先天性QT延長症候群
15	TSH受容体異常症
16	特発性血栓症
17	フィッシャー症候群
18	メニエール病